

2025年11月19日(水)

第1回 設立セミナー

in グランフロント大阪

※オンライン
参加可能

地域食料システムの未来を共に考え、繋がりを強くする ～プログラム～

講演内容

13:30～14:50

基調講演第1講座：「二層構造のプラットフォームで“ひらくチカラ”と“まとまるチカラ”の両立を!!」

- ◆なぜ、あなたの地域の連携は“絵に描いた餅”で終わるのか？
アイデアをビジネスに変える「二層構造プラットフォーム」という新解法
- ◆参加者が「様子見」から「主役」に変わる！“インセンティブ設計”で
持続的な協力を生む、プラットフォーム運営術
- ◆【先進事例を徹底解剖】京都府・宮崎県は、いかにして
多様な関係者を巻き込み、具体的なビジネスを次々と生み出しているのか？



神井 弘之

日本大学大学院
総合社会情報研究科 教授



永尾 俊一

白ハト食品工業株式会社
代表取締役社長

基調講演第2講座：「地域を超えて展開する食料システムの構築に向けて」

- ◆畑から世界の食卓まで！幾多の危機を乗り越え“国産100%”を実現した、
白ハト流「6次産業化」経営の神髄
- ◆廃校が“未来の農業”の発信基地に！茨城と福島で実践する、
地域を巻き込んだ社会課題解決型ビジネス
- ◆“捨てる”が“宝”に変わる。おいも×米×豚で実現する
「サーキュラーアグリカルチャー（循環型農業）」の全貌

パネルディスカッション

14:50～15:30

テーマ：「"オール地域"で挑む！食の価値創造とサプライチェーン 強靱化、連携成功のカギとは？」

- ◆なぜ、あの企業は地域を巻き込むのがうまいのか？
国（法律）・学者・実践者、それぞれの視点から解き明かす「連携成功の黄金律」
- ◆机上の空論はもういらない。冷凍大学芋シェア国内No.1企業（白ハト食品工業）と、
最前線の地域（宮崎コンソーシアム）が語る、連携の“リアル”と“本音”
- ◆あなたの立場なら、明日からどう動く？ 事業者・農林漁業者・行政、
それぞれの“次の一手”を徹底討論



登壇者(予定)：・農林水産省 大臣官房 総括審議官（新事業・食品産業） 河南 健
・日本大学大学院 総合社会情報研究科 教授 神井 弘之
・みやざきLFP（宮崎地域コンソーシアム）

いちごポタジェ株式会社 代表取締役社長 田口 沙緒理

宮崎県 農政水産部 農業流通ブランド課 6次産業化推進担当 主査 齋藤 友則

マッチング交流会

15:40～17:00

未来へつなぐマッチング交流会 ～新たな連携がここから生まれる～

- 単なる名刺交換会に終わらせない、「目的志向型」のマッチング交流会。
- 参加者が抱える「課題」と「リソース」を可視化し、具体的な協業パートナーを見つけるための戦略的な70分間を設計。セミナーで得た熱量を、具体的なアクションへとつなげるためのクロージングセッション。

MAFF

主催 農林水産省

委託事務局

 Fundai Soken

《お申込み》 下記URLまたはQRコードよりお申込みください

<https://seminar-app.com/cer-0000000178>

申込期限11月12日



ゲスト講師プロフィール



神井 弘之

日本大学大学院
総合社会情報研究科 教授

1967年愛媛県生まれ。博士（学術）
主に社会人を対象とする通信制大学院で、地域活性化に関する研究活動を展開中。
1991年度から2022年度まで、農林水産省に在籍し、FCPチームリーダー、食品製造課長、大臣官房審議官（消費・安全局担当）、三重県マーケティング室長、政策研究大学院大学農業政策コースディレクターなどを歴任。2023年度から現職。合同会社神研代表社員。



永尾 俊一

白ハト食品工業株式会社
代表取締役社長

1963年、大阪市生まれ。関西大学法学部卒業。大学4回生のとき、たこやきハウス「KU/KU/RU道頓堀店」（現、たこ家道頓堀くくる本店）を開店。変わりダネを35種類開発し、人気店に。その後、さつまいも専門洋菓子店「おいもさんの店らぼっぽ」開業。その後もさまざまなブランドを立ち上げ、全国の有名百貨店、駅ビル、アミューズメント施設などに店舗を出店する。2000年には農業法人「育みの里しろはと」を設立。2010年白ハト食品工業株式会社に代表取締役社長に就任。関西大学評議員も務める。

地域食料システム構築・連携推進プラットフォームとは？

本プラットフォームは、地域の持続可能な食料システムの構築に取り組む多様な関係者が連携・参画する場です。

農林漁業者や食品等事業者をはじめ、地方公共団体、食品関連団体、金融機関、大学・研究機関、地域コンソーシアムなどがそれぞれの立場から地域の食品産業の振興に取り組みます。

また、本プラットフォームは「食料システム法」の「連携支援事業」を活用し、地域での協働体（コンソーシアム）の設立や活動を後押しします。

地域における持続可能な食料システムの構築に向けた実践的な取組を促進し、関係者同士のつながりを深めることで、みんなでつくる持続可能な食料システムを推進していきます。



Local Food-system Platform

主な活動

情報収集・分析・共有・発信（イベント・セミナー開催）

地域コンソーシアム活動支援（伴走支援・マッチング）

地域コンソーシアム設置支援（専門家の伴走支援）

各構成員の持続可能な食料システムに資する活動連携促進（マッチング・交流会）

食品等事業者の取組促進（農林漁業者との連携強化）

持続可能な食料システムに関するその他取組



地域食料システム
構築・連携推進プラットフォーム
Local Food-system Platform

委託事務局：株式会社船井総合研究所
サイトURL：

<https://pfs.maff.go.jp>

